

南日本新聞 H27.7.16

空き家バンク情報発信

奄美市と県宅建協が協定

奄美市は8日、本年度から運用する空き家バンク制度に向け、県

宅地建物取引業協会と提携協定を結んだ。市役所で調印式があっ

た。同市の空き家バンク制度は、賃貸や売却を



協定を締結した朝山毅奄美市長（右）と県宅地建物取引業協会の本村満彰会長

希望する空き家や土地を、協会と協力して調査し登録。市がホームページや広報紙、国の全国移住ナビなどで情報発信する。協会の加盟業者は、交渉・契約を請け負う。

同市企画調整課によると、当事者同士の交渉では、手続きが煩雑なため契約が成立しないケースが多いという。業者の仲介によって円滑な交渉・契約が期待される。

市内の空き家は約700軒。定住促進と危険な廃屋発生を抑制する効果があるという。空き家バンク運用に關し県宅建協会との提携を結んだのは、奄美群島内では初めて。

(竹中康雅)